

たくましく心温かな中洲の子



◆ 令和2年 12月 8日(火)
◆ 諏訪市立中洲小学校

明日から懇談会 よろしくお願ひします



9日(水)～15日(火)は保護者懇談会です。今年度は保護者の方と対面しての家庭訪問が出来ず、担任が保護者の方としっかりお話させていただくのは初めてという場合もあり申し訳ありません。限られた時間ではあります。お子さんのことについて話し合う大事な時間にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。なお、各学年便りに懇談会でのコロナ対策が記されていますのでよくお読みいただき、ご協力をお願いします。下校が早くなりますので、放課後の生活についてご配慮いただき、保護者の方の知らないところでお子さんが出歩いていること等がないようお願ひ致します。

また、学校評価アンケートへのご協力もありがとうございました。私も全部に目を通させていただき、検討事項をまとめているところです。学校全体に関わることにつきましては、年内のうちにご報告する予定です。学級や学年で対応することにつきましては、懇談会で話題にさせていただいたり、学級や学年で回答させていただいたりしながら保護者の皆様の声を生かして参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

◆ ◆ ◆ 各クラスの学習が充実しています。 ◆ ◆ ◆



1年3組 (生活科)
手づくりおもちゃであそぼう



6年4組(総合)
カリン46ップ

先週は全職員で授業を見て学び合う研究会が行われました。コロナの関係で毎年行っている授業研究会がなかなか開けなかったのですが、職員みんなで授業づくりについて考え合う貴重な時間をもつことができました。

1の3では、他のクラスをおもちゃパーティーに招待する大きな目標に向かって、おもちゃを手づくりする活動をしてきており、今回はコマづくりでした。自分のつくりたいコマ(よく回るコマ・きれいなコマ等)目指して、材料を工夫しながら何度も試したり友達や先生と関わったりしながら、夢中になって取り組む姿が素晴らしかったです。人や物と関わることによって工夫したり楽しんだりしながら、活動のよさや自分のよさに気付き、意欲や自信をもって生活できるように、生活科の学習も充実させていきたいです。

6の4はカリンに関わる活動(袋かけや摘果、砂糖漬け、更には台風で落ちてしまったカリンを再利用した草木染め)をする中で、「(加工が大変なのに)どうしてわざわざかりんを育てたり、加工したりしているのか。」という疑問をもち、自分たちで調べることに加えて詳しい方にお話を聞くなどしながら、追究を深めてきました。その中で、「諏訪に暮らす人間としてかりんを大事にしたい」という願ひをもち、自分たちでできることを行動に移し発信しようとしています。卒業までの残りの時間の中で、「ふるさとを大事にしたい」という思いがどのように実現するか、楽しみです。

他の学級学年でも、お互いに授業を見合ったり、毎週行われる研究会や学年会の中で授業について意見交換したりしながら、よりよい授業目指して取り組んでいます。子どもが楽しんで学びつつしっかり力のつく授業目指して、職員みんなで頑張っていきたいと思っています。なお、中洲タイムの様子はロビーに貼り出しておりますので、お時間のある方は懇談会の際にご覧ください。

* * * * *

11月26日(水)に、**諏訪市冬の校外生活指導会議**が行われました。中洲小PTAからも会長の小瀬さんと校外指導部長の伊藤さんが出席してくださり、警察や民生児童委員の方やネットトラブルに関する講演を聞いたりしました。各団体の方からは、「親の目の届かないところで深夜の出歩

き等が行われトラブルに巻き込まれるケースなどがあるので気をつけてほしい」「家庭内での暴力が増えている心配がある」「帰宅した際の手洗いをきちんと行うことが大事」「冬休みの過ごし方について、特にコロナ禍で人混みを避けるなどの対応をお願いしたい」というような話がありました。

また、子どもとメディア信州運営委員の方から「ネット社会に生きる子どもと大人の役割」という講演をお聞きしました。大切な内容がたくさんありましたので概略をお伝えします。各ご家庭の実情に合わせて、お考えていただけたらと思います。

○ゲームやスマホの与える子どもへの害について

- ・毎日3時間以上ゲームやスマホをしていると、勉強したことがなかったことになるという研究結果がある。
- ・いくら長い時間勉強したり、睡眠をしっかりとってたりしても、「毎日1時間以上メディアに触れているとテストでよい成績がとれない」という研究結果がある。
- ・毎日ゲームやスマホばかり使っていて、それが生活の中心になってしまうと、勉強したり考えたり、がまんしたり、感情をコントロールしたりする脳の大事な場所が成長しなくなる。
- ・ブルーライトの影響：加齢黄斑変性症の危険性が高くなる。視野のぼやけ、ゆがみ、欠落など。失明の危険性も高まる。
- ・ゲーム依存症（有害なことが起きててもやめない行動障害）が「ゲーム障害」として国際的に病気として認定された。
- ・ネットでの性被害についても深刻な問題で考える必要がある。

○子どもが「ゲームをしすぎているなあ」と感じたら…今からでも遅くない

- ・「自分ができるところから」少しずつ減らそう。一人で頑張るのは難しいから、家族や先生と約束を作り、シールなどを使って頑張ったことが目に見えるようにしよう。
- ・うまくいなくても、何度も挑戦し、少しずついいから努力を続けよう。
- ・自分がどのくらいゲームをしているのか、毎日正直に記録する。無理なくやめられることを子ども自身が決める。
- ・ゲームをしない分、別の楽しみを見つける。

○親の役割…日頃からのよい親子関係づくりを大切に。大人として責任と覚悟をもって。

- ・18歳まではフィルタリングは当たり前。時間や場所を決める。ながら勉強はやめる。
- ・約束は守らせるためのもの。約束を破ったら〇〇日間使用禁止など。
- ・子どものゲームやネット利用に関心があることを示し伝える。
例)「後ろを歩く」「何してるの教えて」
- ・親子の関係づくりを大切に。親が真剣に話すことを受け止め我慢しようとする関係。
- ・何か困ったことがあった時に、何でもすぐに話せる親子関係。子どもにとって必要な愛情を注ぐ。必要な愛情で満たされると、それが自立への基礎となる。
- ・心が動く時間を一緒に。位置関係は子どもの横に寄り添うこと。読み聞かせ・土いじり（花や野菜づくりなど）・散歩・ウインドウショッピング・スポーツ観戦・・・等
- ・メディアコントロールは毎日が勝負。1日1時間を限度になるよう、毎日少しずつ取り組む。
- ・**大人が「メディアとの上手なつきあい方」のお手本になりましょう。**

「パパとママのスマートフォンになりたい」

ぼくの願いは、スマートフォンになることです。

なぜなら、僕のパパとママはスマートフォンが大好きだから。

二人はスマートフォンばかりを気にして、ときどきぼくのことを忘れてしまいます。

パパが仕事で疲れて帰ってきたとき、スマートフォンのための時間はあるけど、

僕のための時間はないみたい。

パパとママは大事な仕事をしているときでも、電話が鳴るとすぐに電話を取るんだ。

僕が泣いているときでさえ・・・そんな風にはしてくれないのに。

二人は、僕じゃなくてスマートフォンと遊ぶんだ。

誰かと電話をしているときは、

僕がどんなに大事なことを伝えようとしても聞いてくれない。

だから僕はスマートフォンになりたいんだ。



(シンガポールの小学生の詩より)